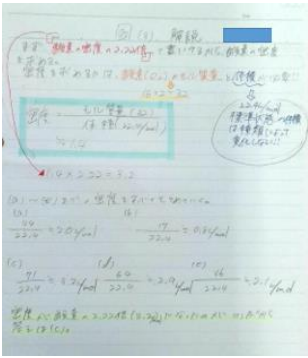


生徒が見つけた解説集(ロイロノートの提出箱)



生徒が見つけた解説の一例

## 活用場面

## 一斉学習

教師による教材の提示

## 個別学習

調査活動

思考を深める学習

表現・制作

## 協働学習

協働での意見整理

協働制作

## 活用した機器等

Chromebook  
iPad

## 活用したアプリ等

ロイロノート  
YouTube

## 学習のねらい

物質に関連した様々な量的関係を考える問題について、その答えを導くまでの解説を自分たちで作成することを通して、分かりやすい計算過程や注意すべきポイントについて考察し、時には図を用いて表現する。

## 学習の流れ

**導入** 「分かりやすい解説集をつくる」という課題の説明を受け、採点時に用いるルーブリックを確認する。  
解説の見本として、教員が演習問題の解説を行ったYouTubeの動画も参考にする。(「IK実験」 <https://youtu.be/3MLCx9N85Xk>)

**展開** 2人1組のペアワークを行い、1ペアにつき1つの問題を担当し、その問題に対する分かりやすい解説を自分たちで作成する。  
解説は、ロイロノートのテキストカードでつくるか、紙に手書きで書いたものを写真で撮って、ロイロノートの提出箱に提出する。  
早く終わったペアは、自分の担当以外の問題を解いていく。

**まとめ** 提出された解説をクラス全体でまとめたものを共有し、それぞれを参考にしながら問題を振り返る。

## ココでICTを活用!

- ・Chromebookを用いて、自分たちの分からないことをインターネットなどで検索した。
- ・解説の仕方の見本として、教員によるYouTubeの動画も参考にした。
- ・ロイロノートを用いて、課題の内容・採点時のルーブリックを確認することで、見直しをもつて取り組むことができた。
- ・紙に手書きでまとめた自分たちの解説を、ロイロノートで電子的に保存した。
- ・ロイロノートの回答共有機能を用いて、各ペアの解説を「解説集」として整理し、全体で共有した。
- ・クラウドを介することで、課題の配信や採点した後の課題の返却を速やかに行うことができた。

## 活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

ロイロノートで提出することで、生徒はいつでもどこでも解説を閲覧することができる。  
また、生徒自身が生徒目線で解説をつくるので、問題集に付属の解説よりも理解しやすいことが多い。  
例年、考査前には質問に来る生徒がたくさんいるが、どの生徒も聞いてくる内容には共通する部分が多いので、生徒自身が解説集を作成することで、教員側は個別の生徒に対応する時間を、より深い理解に向けた指導に充てることができると考えられる。  
実践時には、問題をまったく解けない生徒が出ないよう、ペアワークで行った。また、回線の混雑を避ける観点からも、ペアワークが適切であった。  
振り返りとしては、簡単すぎて解説のし甲斐がない問題も含まれていたため、使用する問題の精査が必要であると感じた。